



モジュール1-3

● 表題・枚数・時間

- 臨床倫理のアプローチ-倫理的対話を促す4分割法(表)、モジュール24枚、約35分

● モジュールの概要

このモジュールは、臨床倫理の4原則を前提としながら、臨床で多職種が、立ち止まって対話する際に(比較的共有されている)Albert Jansenらが提唱した、臨床倫理の4分割法を示す。臨床現場で違和感を覚えたりや、釈然としない中で、多職種で対話するためには、何らかの仕掛けが必要である。そのために編み出されたのが、臨床倫理の4原則を踏まえた、4分割法である。多職種で対話するためのワークシートといえる。

このワークシートは、数回使うと慣れるが、当初は何をどこに書くのかについて迷うことがある。そこで、これらについて、解説を行う。

なお、方法論を示す際は、「4分割法」というが、ワークシートを指すときは「4分割表」ともいう。

● 講師からのキーメッセージ

1. 臨床倫理の4原則と、臨床倫理の4分割法の関連を知る。
2. 4分割法を記載する際の簡単な作法を知る。
3. 4分割法の持つよさと、その限界も知る。
4. 4分割法を記載するにあたり、職種や対象とする場面によって、倫理原則の見え方が異なることを知る。

● モジュールの目標

このモジュールを修了すると、受講者は:

1. 臨床倫理の4分割法について説明できる。
2. 臨床倫理の4分割法の書き方について説明できる。
3. 臨床倫理の4分割法のよさと、限界を説明でき、限界への対処について説明ができる。

● 事例を検討するにあたって

- 4分割法(表)を用いて、事例の事象を4か所に埋めていってください。その際に、4原則を使って、価値の対立・ジレンマ関係の分析もしてください。
- どこに書くよりも、まずは書いてみることを優先してください。
- 書けないところについて、どのようにして情報を取得するかについて考えてください。
- 4分割表に記載しただけでは、自動的に対処方針が決まるものではありませんが、4分割表をもとにして、今後のプロセスについて考えてください。